

令和8年度 品川区第1回行政評価委員会
議 事 概 要

日 時：令和8年7月15日（水）14:00～16:00

場 所：品川区役所 議会棟6階 第一委員会室

＜議事次第＞

1. 開会

2. 委員紹介

3. 品川区の行政評価

4. デジタルプラットフォームについて

■委員

・「データを取得して終わり」といったことにならないよう、今後の事業展開を見据えて、明確な取得データの活用イメージが必要である。

■事務局

・区としても、データの活用については最も留意すべき部分と認識している。一方で、区の意図が設問に反映されすぎてしまうと、質問が誘導的に感じられてしまう懸念もある。フラットな視点で区民の皆さまから評価をいただき、適切に今後の施策展開に反映していきたい。

■委員

・属性情報の回答を求めることが回答者の負担になることは理解するが、最低限の属性は問うべきと考える。参考情報ではあるが、イラストを用いて、自身に近いキャラクターを選択してもらおうといった手法が、比較的容易に属性情報を収集する手段となり得る。民間企業では、「どちらのコンテンツが好みか」を2～3択などで直感的に選ばせているように、回答負荷を下げつつ情報を取得するための工夫が必要である。各選択肢においても、前述の手法を用いて、選びたくなる工夫をすることが重要である。

■事務局

・イラストの作成は、今回は工数的にも困難であるため、今後の参考としたい。

■委員

・パソコンで画面を見た場合に、文字が小さく感じる。高齢者の方などは見にくいのではないか。事業説明の画面でも、トップページの「声がカタチになるまで（今後の流れ）」と同様に、シンプルなイラストを加えることができないか。

■事務局

・「より見やすくするための工夫」という趣旨と理解した。先ほどと同様にイラスト追加は困難であるため、文字の大きさの強弱・レイアウトの見直し等で対応する。

■委員

・ホームページ画面では、事業内容がしっかりと説明されており、一般区民が情報を確認・理解し、回答するハードルは高いように感じた。区民に対しては本意見聴取についてどのように周知していくのか。

■事務局

・区が有するSNSなどの各種広報手段はもちろん、QRコード入りチラシの配布等を通じて周知を行う予定。区で実施するイベント等で直接周知を行いたいと考えている。

5. 個別事業の審議

（１）ケーブルテレビ広報

■委員

・独自の動画コンテンツ等の作成には意義がある。一方で、当該コンテンツを発信する場がケーブルテレビである必要性があるのか、発信方法については疑問がある。「同様のコンテンツをYouTubeで公開するのであれば、はじめからYouTubeだけでいいのではないか」という議論も出てくる。こういった意見が区民から出てくると思う。

■委員

・本事業の目的が「広報活動」なのであれば、どういった層に何を伝えたいのかを明確化する必要がある。必ずしも全区民に周知したい内容を放映しているわけではないと認識した。そのため、区民からの評価も分かれるように思う。

■委員

・一般的な自治体同様に、ケーブルテレビ事業の目的が「防災」にあるのであれば、区民からの理解も得られると考える。しかし、単に広報を目的としているのであれば、番組当たりの経費はかなり大きく、費用対効果の面で区民からの理解を得るのは困難なのではないか。ネガティブな意見も少なからず出てくると思う。

■委員

・設問では、「区の広報番組を見たことがあるか」を問う以前に、「ケーブルテレビ品川を見たことがあるか」を確認すべきである。

■事務局

・設問を追加することとする。

(2) たばこ対策

■委員

・設問3「品川区の条例改正で区内の喫煙環境はどのように変化したか」については、「そのように感じた理由」の回答がないと、印象論になってしまい、得たデータを政策に還元できないのではないかと。

■事務局

・ご指摘のとおり。設問を追加する。

■委員

・喫煙所設置が可能な地域では設置支援を重視し、困難な地域（住宅地や公園等）では啓発活動を重視するなど、地域特性に応じた施策展開を検討することも考えられる。

(3) 区民芸術祭

■委員

・「区民芸術祭」というタイトル自体は区民に認知されているのか。各企画等については認識していても、それらが「区民芸術祭」に該当することを認識できていなければ、本事業に対する評価を行うことも困難である。区民芸術祭ではどんなことを実施しているのかを、しっかりHPで説明する必要がある。

■委員

・設問で、どういった芸術祭やイベントを良いと感じたか問うことは有意義と考え

る。本設問への回答に基づいて企画の再構築ができると良い。

■委員

・事業趣旨・目的では、「区にゆかりのある音楽家・芸術家の協力を得ながら…」とされているものの、実際には区民活動の発表の場となっている。その中で、設問1において興味のある芸術分野を問うているが、一般的に興味のある分野と、区民活動の中で興味のある内容は異なると想定される。

■事務局

・芸術祭については、様々な方向性を含めて、ゼロベースで検討を進めたい。そのため、まずは興味のあるジャンルを聞くこととした。

(4) ヒカリ演出

■委員

・設問5は経費の増加を指摘しながら今後の事業の在り方を問う内容であるが、やや誘導的に感じられた。記載方法及び設問表現を見直してはどうか。

■委員

・費用対効果に触れる質問を行っているが、費用対効果を問う設問は全テーマに置いても良いのではないか。

■事務局

・表現を見直したうえで、全テーマにおいて費用対効果を問う方向で調整する。

(5) 省エネ対策

■委員

・設問1の選択肢について、「どちらでもない・分からない」をそれぞれ別の選択肢に分けた方が良い。

■委員

・潜在的な助成ニーズを捉えられることが望ましい。設問2－(2)に関連して、「何を導入したかったのか」を問うてはどうか。

■事務局

- ・それぞれ選択肢および設問を追加する。

—以 上—